

議長（前原英石君） 1番 森 弘秋君。

1番（森 弘秋君） この3月1日に富山駅で新幹線の最上級クラス「グランクラス」が公開されました。私も座ってまいりました。が、ここまで必要なのかなと思うくらいに装置が完備しております。いかにしてゆっくり旅行を楽しむかですね。すごかったです。

昨今の富山県及び市町の話は、1年後に開通する北陸新幹線の1年前のイベント・開通に向けてどのような施策を講ずるか。この好機をいかに生かし、将来のそれぞれの地域のあり方を思考し、宣伝しております。

反面、災害は何十年に一度しか起きないと考えるか、何十年に一度は必ず起きると思うか、防災の悩ましさであります。しかし、何十年に一度起きる大地震のために膨大な資金をかけて耐震化が進んでおります。雪害も同じですとコラムに書いてありました。

2月に大雪に見舞われ、太平洋側で交通マヒが相次ぎ、群馬・長野県境の国道18号では、一時400台の車が立ち往生しました。身動きがとれないドライバーたちは、急遽設けられた避難所に身を寄せたり、住民から炊き出しを受けたりしてしのいだようです。中には、商品であるパンを配っておられたとも聞きました。緊急避難ともなると、何でもござれで助け合う必要があると考えます。

富山県でも、災害に備えて、各方面で現時点から先見性を持って、抜本的に整備を進めておく必要があると考えておられます。

さて、現在、役場近郊における駐車台数は、舟橋小学校29台、舟橋中学校40台、舟橋会館20台、役場前駐車場65台、計154台を保有しております。が、非常時を考えると、心もとないのではないかと思います。

例えば、以前、舟橋小学校の運動会では、小学校はおろか、中学校、舟橋会館の駐車場、役場前の駐車場はあふれておりました。したがって、路上駐車となりかねません。これで安全と言えるだろうかと考えたものです。小学校の運動会ばかりではありません。常に緊急時を想定しておかねばなりません。

私はこんな経験をしました。ある大会が舟橋会館であったのですが、恐らく会館の駐車場は満車であろうとあらかじめ考え、役場前駐車場にとめていこうと思い、駐車場に入ろうとしたのですが、何と満車。所狭しと、好き放題に駐車してありました。

万が一に有事の際はどうなるのだろうか、不安がよぎりました。これで、果たして安全な村と言えるのだろうか。

私もあいている場所にとめようと思ったのですが、残念ながら無理でした。中学校の駐車場にとめようと思い、来てはみたが、満車。幸い中学校は、東西に出入り口がありますから、何とか西側の空きスペースに駐車をしました。当然に会館・学童保育室の駐車場も満車です。

駐車場は白線内にきちんととめる。しかし、それが守られておれば、トラブルは起きないかもしれません。いつでも出入りができる。ほんの数分の時間なら他人に迷惑をかけないと思っておられるかもしれませんが、その考え方が間違っていると思います。

次に、役場庁舎前の駐車場、ご存じのように、出入り口が1カ所であるので、これが非常に難であります。これで緊急の場合、安心・安全と言えるのだろうか。

このことから、少なくとも2カ所の出入り口を模索する必要があると考えますが、いかがでしょうか。このことを考えれば、現在の反対方向に出入り口を1カ所設けたほうがベターであり、そうあるべきであります。

そのような中で、今、役場前駐車場で、富山県東部消防組合消防本部、上市消防署舟橋分遣所が建設されております。まして、分遣所が小学校の向かい側にできます。分遣所の前、いわゆる役場前の道路は、常に緊急時を想定して相当の距離の確保が必要になると考えなければなりません。

また、これに伴い現車庫が移転され、駐車場が縮小され、13台の減少。率にして20%減ることになります。現在65台の駐車台数であります。52台となります。普通に考えれば十分と思いますが、本当にそうだろうか。一般的に駐車場の必要台数の規定はないと考えますが、元来駐車台数が少なかったのではなかろうかと疑問を感じます。

一方、第4次舟橋村総合計画における将来人口に対するアンケートによれば、10年後には人口3,500人が望ましいことを目標としております。しかし、高齢化が進む中でドライバーの減少も考えられますが、人口増による、さらに地域間の交流による自動車、自家用車等を利用する人が増えると考えられます。元村会議員の意見で、「今のうちに駐車場の確保が必要ではないのか。将来の計画を考えることも大事である」と話しておられました。

冒頭にも申しましたが、1年後には新幹線も開業します。日本一面積の小さな舟橋村も、富山県の中核の村として発展し、日本に発信していくためにも、まず中長期的な将来を見据えた駐車場の確保を今から考えておく必要があると思います。

また、災害はいつ起きるかわからない時代です。想定外を考えておくことが大事です。

そのための投資も必要だと思います。

いずれにしても、先見性を持って駐車場の確保、拡大が必要ではなからうか。現時点から拡張を考え、抜本的に整備を進めておく必要があると考えますが、村当局の将来を見据えた考えをお聞かせ願います。

議長（前原英石君） 総務課長 松本良樹君。

総務課長（松本良樹君） 1番森議員さんのご質問にお答えいたします。

まず、役場前駐車場の駐車台数であります。議員がおっしゃいましたとおり、もともとは65台、面積にいたしまして3,657平米でありました。分遣所建設並びに車庫の移設工事に伴い、13台分460平米が減少するため、分遣所が完成する4月以降は駐車台数52台、面積が3,197平米となる。

庁舎に勤務する役場職員、社会福祉協議会及び土地改良区職員、小学校の先生等は、従来役場前の駐車場を利用しておりましたが、工事が始まりましてから駅南駐車場を利用しており、来庁者の駐車台数の確保に努めているところでございます。

また、多くの方々が参加する会議等につきましては、舟橋会館を利用することが多くなっており、平日の来庁者数等を考えますと、この駐車台数の減少については、さほど影響がないものと考えております。しかし、状況に応じましては、4月以降も職員が駅南駐車場を利用するということについても検討してまいりたいと考えております。

しかし、平日に小学校の授業参観等の行事が行われた際には、これまでも駐車場がいっぱいになり、来庁者にご迷惑をおかけしている状況が見受けられます。

これからは、行事等に参加される保護者には、保育所の駐車場を利用させていただくことや駅南駐車場の利用を促すなど、来庁者の利便性に配慮してまいりたいと考えております。

休日に開催されます大規模なイベント等、実績としては、2000年国体や全国スポーツレクリエーション祭であります。この際には、数多くの方々が村外から来村されたわけでありましたが、役場、小学校、中学校、舟橋会館、京坪川河川公園等の駐車場の有効利用や舟橋駅南駐車場を開放することによりまして、満足のいく対応ができたものと考えております。

また、駅南駐車場につきましては、事前に利用者が把握できるようであれば、1日利用できる無料券を配布することも可能であります。

駐車場の増設という方法も考えられますが、用地取得や造成工事に多額の費用を要す

るため、現状維持がベターと考えております。既存の駐車場を有効に利用することにより、平日・休日に開催されるイベント等への十分な対応、役場来庁者の駐車スペースの確保にも努めてまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

議長（前原英石君） 森 弘秋君。

1 番（森 弘秋君） 今ほど答弁をもらったんですが、職員駐車場の件、考えているということですか。

それから、ちょっと気になったのは、現駐車場・駐車台数、これがベターだと。ベターというのは、どんな意味なんかなと。

それと、私の言っておる質問の中で、安心・安全な村、例えば今言ったのは駐車場ですね。役場の駐車場は出入り口が1カ所だと。確かに多くの額の投資が必要だと思いますが、これを解決しなけりゃ、出入り口が1カ所ということは、いざ、先ほど言いましたように、有事の場合に、飛んだらかんにゃならん、かつかったらかんにゃならん。トラブルが必ず起きるということを考えて、多少の額、金額といいますが、財政難で難しいかもしれませんが、財政面で。考えるのはやっぱり中学校の東西2カ所ありますように、舟橋役場前も2カ所の出入り口が、私、必要でなかるうかと。もうそのことを考えていくことが必要だということを行ったはずなんです、それについての答弁をひとつよろしくお願いします。

議長（前原英石君） 村長 金森勝雄君。

村長（金森勝雄君） 森議員さんの質問にお答えいたしたいと思っております。

まず、役場前の駐車場の話でございますけれども、皆さんご存じのとおり、舟橋の役場の駐車場というのは、住民票とか戸籍とかいろんなことを、諸証明の交付、あるいはまたその他の、税金を収納するために来られるわけでありまして、所要時間というのは限られておるわけですね。1日丸々おられるわけでない。

私も金沢市の駐車場を見てきましたけれども、そのような形態で、この駐車場で十分機能するのと言って私は話をしてきたところ、デパートと違うんだと、行政はそうだという話なんで、舟橋村も今現在、駐車場で狭いとかそういった話はありません。

ただし、将来にわたっていけば、先ほどおっしゃったように、人口も増えてくるようになりますと、やはり役場へ来庁される方は多くなる。そうなりますとどうなのかと、こういうことを前提にして、職員の駐車に当たっては駅南の駐車場にやるべきでないか

ということを検討しているということをお知らせしたわけでありまして。

それと、役場の駐車場は、広場は避難所になっておりません。中学校あるいは小学校のグラウンドでありますので、そこへ車が集中してくるということは、私は考えられないということでもありますので、そういう点をご理解いただきたいと。

それからまた、出入り口の話ですけれども、私は現状の中でそういったことが本当に必要なかどうかと。もちろん意見としては伺っておきますけれども、果たして将来にわたって舟橋村の独立していく過程の中にそれが本当に必要なかどうかということも含めて皆さん方と十分協議してまいりたいと、こういうふうに思っておりますので。

いずれにいたしましても、やはり皆さんの考えが、どこに視点があるのか、そしてそれが村民に納得してもらえるのかどうかとか、いろんなことを模索しながら進めていかなくてはならないというふうに考えておりますので、そういう点を含めてご理解をいただきますようお願い申し上げます、私からの答弁にかえさせていただきます。